



取扱説明書

バイオ認証装置 Secure Login Box(FMSE-C301)

増設用バイオ認証装置 Secure Login Box(FMSE-C3A1)

はじめに

このたびは、バイオ認証装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、バイオ認証装置（以降、本製品）をお使いになる上で知っていただきたいことを記載しています。本製品をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いします。

なお、本製品をお使いになるには、別売のクライアント用ソフトウェア『SMARTACCESS/Premium』が必要です。

2006 年 4 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態になっている場合があります。データは、他の媒体などに複写して、保管しておいてください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品に接続したパーソナルコンピュータでのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
 - (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
 - (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。
たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
 - (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付のセットアップディスクなどは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品をセットアップするときに必要です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっていません。

本製品には、有寿命部品（ハードディスクなど）が含まれており、長時間連続で動作させたりした場合、早期の部品交換が必要になります。保証期間は 1 年間です（契約により異なる場合があります）。

本製品の使用環境は、温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品の構成部品（プリント基板、ハードディスクなど）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

エネルギー消費のお知らせ

■ 定格電流：最大 9.2A

■ 電源 OFF 時の消費電力：3W 以下

（電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、メインスイッチを「○」側に切り替えるか、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。）

■ 動作時の最大消費電力、最小消費電力

・ 最大消費電力：約 560W



・ 最小消費電力：約 121W

（ご使用になる機器構成により値は変動します）




警告表示について

■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

■ 電源・電圧・接続について

警告



- ・アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
アース接続をしないと感電のおそれがあります。



- ・アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因となります。



- ・2ピンのコンセントに接続する前に、添付の2P変換プラグを使って必ずアース線を接続してください。
アース接続ができない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。
また、添付の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・電源ケーブルやコネクタの金属部分に手を触れないでください。また、電源プラグを抜いた直後は、プラグに触らないでください。
感電の原因となります。



- ・電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。



- ・電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因となります。



- ・電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。



- ・カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・近くで落雷のおそれがある場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、モジュラーケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

故障



- ・電源ケーブルは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。

発火



- ・電源ケーブルは壁のコンセントまたは無停電電源装置のアウトレットに直接接続してください。
延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。

発火



- ・電源ケーブルを束ねて使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

故障



- ・ケーブルは正しく接続してください。
誤った接続状態で使用すると、故障する原因となることがあります。

■本製品の取り扱いについて

⚠ 警告

感電



- ・万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

発火



- その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電



- ・異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入ったときは、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感電



- ・機器を落とししたり、カバーなどを破損したときは、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

感電



- ・機器をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。

感電



- ・開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

誤飲



- ・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が悪く飲んで窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かない所に置くように注意してください。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

感 電



- ・ 機器本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

感 電



- ・ 機器の上または近くに花びん・植木鉢・コップなどの水が入った容器や、クリップ・ピンなどの金属物を置かないでください。感電・火災の原因となります。

感 電



- ・ 台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

感 電



- ・ 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

け が



- ・ 機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

け が



- ・ 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

発 火



- ・ 機器の開口部（通風孔など）をふさがないように、機器と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

発 火



- ・ 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

発 火



- ・ 使用中の機器は布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

け が



- ・ 本製品内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

■ その他


⚠ 警告

窒 息




- ・ 梱包に使用しているポリ袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。


⚠ 注意

- 


重量物

 - 装置を動かすときは、必ず2人以上で行ってください。
けがの原因となることがあります。
- 


感 電

 - 機器を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、機器が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 

感 電

 - 長期間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 

発 火

 - 本製品は連続動作（24 時間動作）を目的に設計されておりません。ご使用にならないときは電源を切ってください。火災の原因となることがあります。
- 

破 裂

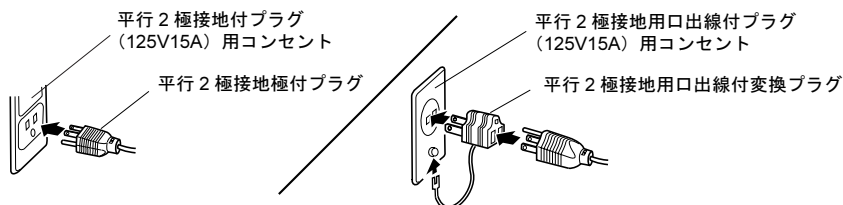
 - 機器の廃棄時には、他のゴミと一緒に捨てないでください。
本製品はリチウム電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。

本書の表記

■ 電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。
「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、添付の「平行 2 極接地用口出線付変換プラグ（2P 変換プラグ）」を取り付けてください。
※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアース部分のことです。
本文中では、次のように略して表記します。

名称	本文中の表記
平行 2 極接地極付プラグ	電源プラグ
平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント	2 ピンのコンセント
平行 2 極接地用口出線付変換プラグ	2P 変換プラグ



■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ コマンド入力（キー入力）

- ・ CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD-ROM ドライブ]:¥setup.exe

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記
バイオ認証装置 Secure Login Box (FMSE-C301)	本製品／バイオ認証装置
増設用バイオ認証装置 Secure Login Box (FMSE-C3A1)	
バイオ認証装置セットアップディスク V5.0	セットアップディスク
Adobe® Reader® 7.0	Adobe Reader

■ お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2006 年 4 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→ P.21）。

■ 警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

添付のマニュアルについて

本製品には、次のマニュアルが添付されています。

□ 取扱説明書（本書）

本製品をお使いになる上で知っていただきたい基本的な内容について記載しています。

□ オンラインマニュアル（pdf）

以下のマニュアルが PDF 形式で、添付のセットアップディスクに収められています。

- ・『バイオ認証装置 Secure Login Box 管理者ガイド』

本製品のネットワークの設定、ユーザー登録など管理者が必要な作業について記載しています。

■ オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアル（pdf）は、添付のセットアップディスク内の Manual.pdf から参照することができます。参照方法は、以下のとおりです。

重要

- ▶ オンラインマニュアルを表示させるには、Adobe Reader がインストールされている必要があります。

- 1** セットアップディスクをセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROM ドライブ] : ¥Manual.pdf
- 4** 参照したいマニュアル名称をクリックします。

1 梱包物を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあつた場合は、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

■ FMSE-C301 の場合

- ☐ バイオ認証装置本体 × 2
- ☐ 電源ケーブル × 2
- ☐ 2P 変換プラグ × 2
- ☐ バイオ認証装置セットアップディスク V5.0 × 1
- ☐ サイドカバーキー 2 個組 × 2
- ☐ D-sub ケーブル × 2
- ☐ 取扱説明書（本書） × 1
- ☐ 保証書 × 2

バイオ認証装置本体はそれぞれ個別の梱包箱（計 2 つ）に入っています。セットアップディスクと取扱説明書は FMSE-C301A の梱包箱にまとめて入っています。
装置本体側面に貼付されているラベルおよび保証書に一方には、FMSE-C301A、他方には FMSE-C301B の表記があります。

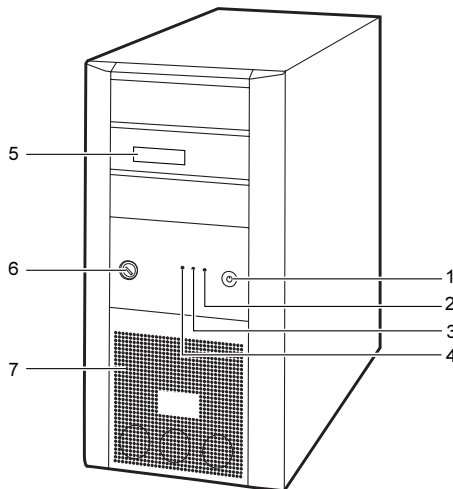
■ FMSE-C3A1 の場合

- ☐ バイオ認証装置本体 × 1
- ☐ 電源ケーブル × 1
- ☐ 2P 変換プラグ × 1
- ☐ バイオ認証装置セットアップディスク V5.0 × 1
- ☐ サイドカバーキー 2 個組 × 1
- ☐ D-sub ケーブル × 1
- ☐ 取扱説明書（本書） × 1
- ☐ 保証書 × 1

2 各部の名称と働き

ここでは、本製品の各部の名称と働きを説明します。

■ 前面



FMSE-C301A と C301B の形状に違いはありません。

1 電源ボタン (⏻)

本製品の電源を入れるときと切るときに押します。

2 電源ランプ

本製品に電源が入っているときに緑色に点灯します。電源が入っていないときは消灯しています。

3 ディスクアクセスランプ

ハードディスクがデータを読み書きしているときに点滅します。

4 メッセージランプ

システムエラーが発生したときに点滅します。

POINT

- ▶ 本ランプが点滅したときは、本製品の温度やファンの状態を確認してください。点滅したままの状態が継続するときは、ハードウェアが故障しているおそれがあります。このような場合には、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- ▶ 本ランプが点滅しているときに、電源ボタンを4秒以上押し続けて電源を切った場合、本ランプは点滅したままになります。この場合は、もう1度電源を入れると消灯します。

5 文字表示装置

システムの状態を表示します。

6 鍵穴（サイドカバー用）

添付のサイドカバーキーで、サイドカバーを施錠します。「筐体のセキュリティ」については、『バイオ認証装置 Secure Login Box 管理者ガイド』の「付録」－「ハードウェアの取り扱いについて」をご覧ください。

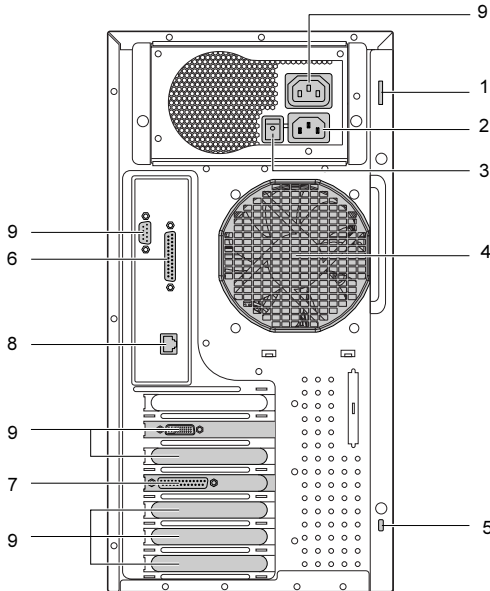
重要

- ▶ 施錠する場合は、お客様の責任で、サイドカバーキーを紛失しないように注意してください。
- ▶ サイドカバーキーを紛失した場合は、引取修理によるサイドカバーの交換が必要となります。「富士通ハードウェア修理相談センター」(→ P.21)にご連絡ください。
なお、保証期間にかかわらず、鍵の紛失によるサイドカバーの交換は有償となります。
- ▶ サイドカバーキーを紛失した場合は、訪問修理の際も即日修理ができません。引取修理になりますので、あらかじめご了承ください。

7 通風孔

本体内部を冷却するために空気を取り込みます。本体を設置する際は、通風孔をふさがないように注意してください。

■ 背面



1 セキュリティ施錠金具

市販の鍵を取り付けます。

2 インレット

電源ケーブルを接続します。

3 メインスイッチ (| / ○)

バイオ認証装置の電源を完全に切る場合に「オフ」にします。「|」側が「オン」で「○」側が「オフ」です。

「オフ」にすると、電源ボタンを押しても、バイオ認証装置の電源は入りません。通常は「オン」のままお使いください。

ただし、長期間お使いにならない場合は、「オフ」にしてください。

4 通風孔 (冷却ファン)

装置本体内部の熱を外部に逃すための開孔部です。

装置を設置する際は、通風孔をふさがないように注意してください。

5 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

6 パラレルコネクタ (上)

7 パラレルコネクタ (下)

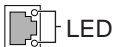
装置前面にある文字表示装置用として、本製品に同梱されている D-sub ケーブルでパラレルコネクタ (上) と (下) を接続してください。

8 LAN コネクタ ()

非シールド・ツイストペア (UTP) ケーブルを接続します。

1000Mbps でお使いになる場合、エンハンスドカテゴリ 5 のケーブルが必要です。

100Mbps でお使いになる場合、カテゴリ 5 のケーブルが必要です。



LED

LED の意味は、次のとおりです。

1000Mbps で LINK を確立 : 上部 LED オレンジ点灯、下部 LED 緑色点灯

100Mbps で LINK を確立 : 上部 LED 緑色点灯、下部 LED 緑色点灯

10Mbps で LINK を確立 : 上部 LED 消灯、下部 LED 緑色点灯

データ転送中 : 上部 LED 緑色点滅

9 本製品では、ご使用になれません。

3 設置について

本製品の設置場所、設置方法を説明します。

⚠ 注意



- ・ 装置の開口部（通風孔や冷却ファン）をふさがないでください。通風孔や冷却ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

設置に適さない場所

本製品を設置する場合は、次の場所は避けてください。

- ・ 湿気やほこり、油煙の多い場所
- ・ 通気性の悪い場所
- ・ 火気のある場所
- ・ 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- ・ 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- ・ 電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所
- ・ テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- ・ 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
- ・ 極端に高温または低温になる場所
- ・ 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- ・ 結露する場所

🔍 POINT

- ▶ 本製品の使用環境は温度 10～35℃／湿度 20～80%RH（動作時）、温度 -10～60℃／湿度 20～80%RH（非動作時）です。
- ▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時、または急激に暖房した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

設置時のご注意

本製品を設置の際は、次の点にご注意ください。

🔍 POINT

- ▶ 本製品は、壁などから 10cm 以上離して設置してください。
- ▶ 本製品は横置きに対応していません。縦置きでご使用ください。

4 接続について

本製品に、電源ケーブルなどを接続します。

⚠ 注意

発火



- ・ アウトレットは使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

ケーブルを接続する

装置本体背面の中央左と下部にあるパラレルコネクタを本製品に同梱されている D-sub ケーブルで接続してください。

ネットワークに接続する

バイオ認証装置を LAN ケーブルでネットワークに接続します。

LAN ケーブルは、富士通製別売エンハンスドカテゴリ 5 ツイストペアケーブル、またはカテゴリ 5 ツイストペアケーブルをお使いください。

1 バイオ認証装置に LAN ケーブルを接続する

バイオ認証装置の背面にある 10/100Base-TX、1000Base-T コネクタに、LAN ケーブルを接続します。

POINT

- ▶ バイオ認証装置は、10Base-T と 100Base-TX、1000Base-T、全二重と半二重を自動的に認識します。
- ▶ FMSE-C301A と C301B または FMSE-C3A1 は連携する他の装置と同じネットワークに接続してください。

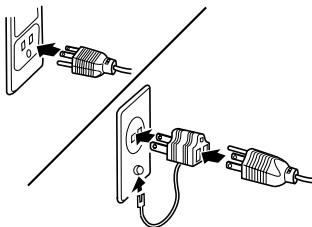
電源ケーブルを接続する

1 電源ケーブルのプラグを本製品背面のインレットに接続します。

2 電源ケーブルをコンセント (AC100V) に接続します。

片方のプラグを、コンセントに接続します。コンセントが 2 ピンの場合は、添付の 2P 変換プラグを取り付けてから、コンセントに接続します。

2P 変換プラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めます。



5 電源を入れる／切る

電源の入れ方

⚠ 注意



禁 止

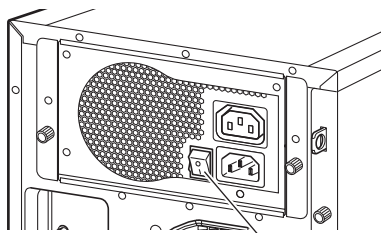
- ・ 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。



禁 止

- ・ 冬季など本製品が冷えきっているときは、温度を急激に上げないようにして本製品が十分暖まってから電源を入れてください。
本製品内部に水滴がつき、故障の原因となることがあります。

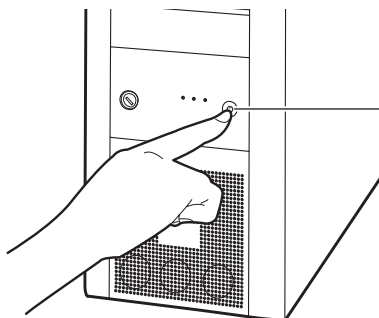
1 本体背面のメインスイッチを「|」側に切り替えます。



メインスイッチ

2 本製品の電源ボタンを押します。

本製品の電源ランプが緑色に点灯します。
電源が入ると、システムが起動します。



電源ボタン (I)

重要

- ▶ ディスクアクセスランプはディスクにアクセスしている時のみ点灯し、システムの起動が完了してアイドル状態になると消灯します。

電源の切り方

1 本製品の電源ボタンを押します。

シャットダウン機能が働き、十数秒後に電源が切れます。

重要

- ▶ バイオ認証サービスが稼働中の装置の電源を切る場合は、必ずサービスの状態を「メンテナンス中」に設定してから電源を操作してください。
詳しくは『バイオ認証装置 Secure Login Box 管理者ガイド』をご覧ください。

POINT

- ▶ 長期間お使いにならない場合は、装置本体背面のメインスイッチを「○」側に切り替えるか、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜くときは、メインスイッチをオフにしてから抜いてください。

注意事項

- ・ 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- ・ 電源を切る前に、ハードディスクのディスクアクセスランプが消えていることを確認してください。点滅中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、ハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- ・ 長時間お使いにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電によって電源が切断された場合は、再び電源プラグをコンセントに差し込むか、停電から復電すると、電源は自動的にオンに戻ります。ただし、起動完了後ディスクの再同期が開始されます。
- ・ 電源を切ったあとすぐに電源を入れる場合は、10 秒間ほど間隔をあけてから行ってください。
- ・ 「電源の切り方」の手順（→ P.19）で電源が切れない場合や再起動できない場合、4 秒以上電源ボタンを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスク内部のデータが破壊される可能性があります。緊急の場合以外は行わないでください。
- ・ 装置本体前面にある電源ボタンで本体の電源をオフにしてもわずかに電力を消費します。電力消費をなくすには、装置本体背面にあるメインスイッチを「○」側に切り替えて電源をオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜くときは、メインスイッチをオフにしてから抜いてください。

6 付録

ビープ音をともなうエラーについて

本製品起動時にビープ音が鳴った場合は、ビープ音の回数の組み合わせを確認し、対処してください。対処した後もまだビープ音が鳴る場合は、本製品が故障している可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元へ連絡してください。

POINT

▶ 次の表の組み合わせ以外の鳴り方をした場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

ビープ音の回数	原因と対処方法
ビーツ・ピツ・ピツ	ビデオカードの初期化（認識）に失敗しました。 ビデオカードが正しく取り付けられているか確認してください。 正しく取り付けられていても同じビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」またはご購入元に連絡してください。
その他の組み合わせ	メモリにエラーが発生した可能性があります。 メモリが正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていても同じビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」またはご購入元にご連絡ください。

リサイクルについて

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

有寿命部品と消耗品について

■ 有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

主な有寿命部品一覧

ハードディスクドライブ、電源ユニット、ファン

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

＊故障・修理に関するお問い合わせ先

■「富士通ハードウェア修理相談センター」

・フリーダイヤル 0120-422-297

・お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

＊技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・フリーダイヤル 0120-950-222

・お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く）

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

修理依頼時のご注意

■ 本製品の施錠について

サイドカバーキーやセキュリティ施錠金具を使用して本製品を施錠している場合は、本製品の修理を依頼する前に、あらかじめ解錠してください。

重要

- ▶ 施錠する場合は、お客様の責任で、サイドカバーキーを紛失しないようにしてください。
- ▶ サイドカバーキーを紛失した場合は、引取修理によるサイドカバーの交換が必要となります。
「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。
なお、保証期間にかかわらず、鍵の紛失によるサイドカバーの交換は有償となります。
- ▶ サイドカバーキーを紛失した場合は、訪問修理の際も即日修理ができません。
引取修理になりますので、あらかじめご了承ください。

バイオ認証装置 Secure Login Box (FMSE-C301)
増設用バイオ認証装置 Secure Login Box (FMSE-C3A1)

取扱説明書
B5FY-7081-01-00

発行日 2006 年 4 月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

ア 0604-1



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆インキで印刷しています。

このマニュアルはリサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。



* B 5 F Y 7 0 8 1 0 1 *